

校長室だより(2・3月号)
「笑顔で新たな歩みのために」

随分と暖かく、春の日差しに少し汗ばむようになりました。私たちの周りを見てみると、緑川沿いには菜の花の黄色が目にとまります。また、桜の花も開花し、満開となりました。冬を乗り越えた自然の生命力に、気持ちも前向きになります。

この一年を振り返りますと、コロナ禍で制限はあったものの、今年度は昨年度までとは異なり、感染防止対策を講じて、行事を開催することができるようになりました。

今年は甲佐町の行事である「あゆまつり」や「産業文化祭」、「緑川スポーツフェスタ」が3年ぶりに開催され、参加することができました。生徒だけでなく、私たち職員にとりましても大変充実した1年になりました。ご協力、ご支援いただいている皆様に感謝いたします。

さて、3月1日の卒業式を前に、「卒業生を送る会」を開催することができました。先輩方に感謝を伝えたい、卒業生のために何かしたいという生徒と先生方の気持ちがあって実現しました。サプライズでのダンス、合唱、みんな一生懸命練習し、卒業生に喜んでもらえるように頑張っていました。3年生も大変喜んでくれました。その詳細は、ホームページのブログに掲載されています。笑顔になりますので、ぜひご覧ください。

折に触れて、紹介した本があります。吉野源三郎さんの著書「君たちはどう生きるか」です。主人公が「ものの見方」や「友人とのかかわり方」、「生き方」について、悩み、苦しみ、自分で懸命に考え、答えを導き出して成長していく姿が描かれています。自分自身で正しい行動はわかっているが、正しいと思う行動が出来ず、自分の弱さから友達との約束を守れなかったことに苦悩し、苦しみに耐える思いの中から、自分がどのように行動すべきかに考えが至ります。私たちは自分で自分を決定する力を持っています。その決定する力は誤りを犯すこともあります。誤りから立ち直ることも出来ます。そのためには、自分で懸命に考えて答えを導き出すことが重要です。「どう生きるか」、どのような環境でも、いつの時代でも、変わることはない問いかけです。真実を知り、自分で正しく判断し、行動することの大切さを心に留めておいてほしいと思っています。

卒業式では、卒業生代表の吉坂さんが答辞で、「甲佐高校では、生徒それぞれに役目があり、みんなが活躍する場所がありました。少人数だからこそ沢山のことに挑戦することができました。」としたうえで、後輩の皆さんに「充実した高校生活を送ってほしい」とエールを送りました。甲佐高校の生徒の皆さん、「夢実現 ～百見は一験に如かず」のもと、高校生活を充実させて、夢実現に向けて一歩を踏み出してください。これからも甲佐高校が、生徒の皆さんの笑顔と前向きな行動、言葉で満たされることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、生徒及び学校を温かく見守っていただき、ありがとうございました。今後とも本校の教育活動に御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本校ホームページをご覧ください、ありがとうございます。少しでも、本校の教育内容や学校の様子など、生徒の輝く姿が伝われば幸いです。



【桜と校舎】

【卒業を祝う黑板アート】